

# 恋来い！ おごおり創生戦略

## ● まち・ひと・しごと創生（地方創生）とは

◇ 少子高齢化の進展に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持するために、以下を一体的に実施することです。

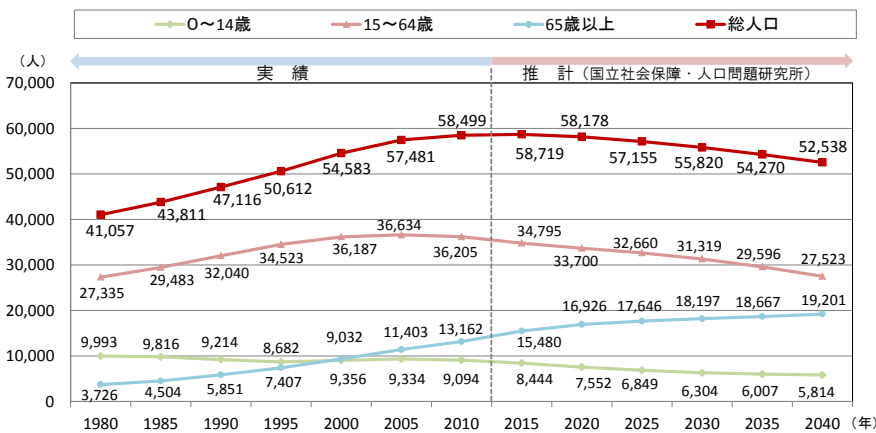
<b>まち</b>	国民一人一人が夢や希望を持ち、潤いのある豊かな生活を安心して営める地域社会の形成
<b>ひと</b>	地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保
<b>しごと</b>	地域における魅力ある多様な就業の機会の創出

## 小郡市人口ビジョン

### ● 基本的な考え方

◇ 人口ビジョンでは、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて、小郡市の人口の現状を分析し、目指すべき将来の方向性を定めるとともに、将来人口を展望します。

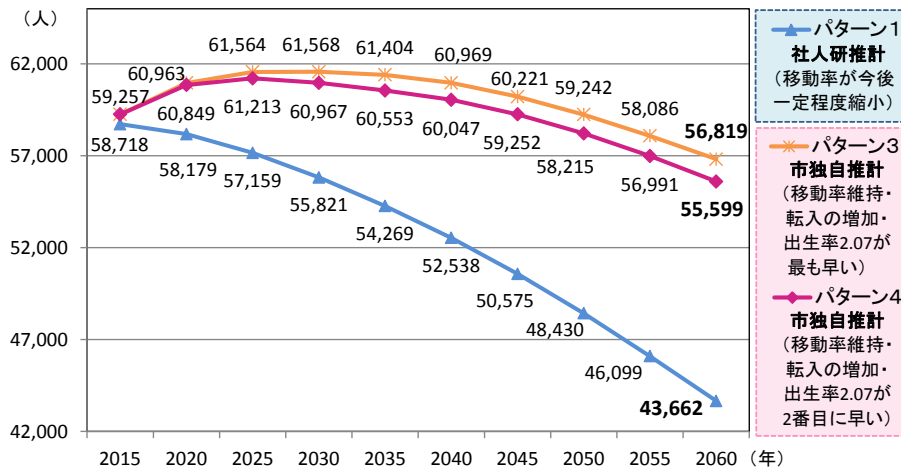
### ● 人口の推移と社人研\*による将来人口推計（年齢3区分別）



**社人研推計**

- ・ 小郡市の人口は、2015年をピークに年々減少します。
- ・ 年少人口は、2040年に1980年の6割まで減少します。
- ・ 老年人口は2000年に年少人口を上回り、高齢化が急速に進行します。

### ● 小郡市独自の将来人口推計



**小郡市推計**

- ・ 小郡市独自推計のパターン3・4では、社人研推計（パターン1）をベースに、「①移動率の維持」「②住宅開発による転入者の増加」「③現在の合計特殊出生率を段階的に2.07へと上昇」の3つの条件を設定します。
- ・ 本市では2040年に人口約60,000～61,000人、2060年に約55,000～57,000人を展望します。

※社人研とは、国の機関で「国立社会保障・人口問題研究所」のことです。

# 小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

## ● 基本的な考え方

- ◇本市が目指すべき将来展望を示した『人口ビジョン』を実現するために、具体的な戦略を定めた『総合戦略』を策定し、取り組みを進めていきます。
- ◇計画期間は、平成27年度から平成31年度までとし、事業の効果検証（PDCAサイクル）により、必要な見直しを行います。

地方創生時代を生き抜く5つの戦略的ポイント

### ① 合計特殊出生率の上昇

本市の特徴として、将来人口へ及ぼす影響度は社会増減よりも自然増減の方が大きいいため、出生率を上げることが人口減少抑制に効果的です。

### ② 若い世代の転出の抑制

若い世代の転出超過は就職や入学のタイミングでの移動と考えられるため、近隣の通勤圏で雇用の場を確保することなどで転出を縮小します。

### ③ 本市の強みである転入超過傾向の維持

介護予防や地域コミュニティ再編をさらに進めることで、元気な高齢者のまちとしての移住先選定などに繋がります。また、住宅開発と並行して、住環境や子育て支援等の各種生活環境への施策に取り組みます。

### ④ 地域での雇用の場の確保

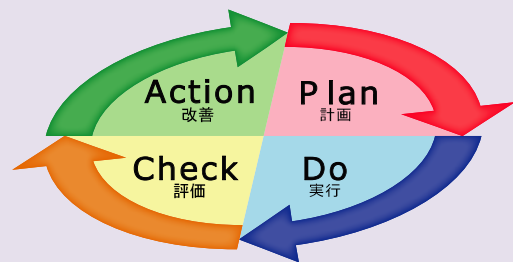
市民の就業先は約7割が市外であり、そのうち約6割は福岡市、久留米市、鳥栖市です。都市圏に近いという利点や交通利便性を今後も維持し、市内に雇用の場を確保することで、近隣での就職や女性の再就職に繋がります。

### ⑤ 「快適緑園都市」の構築

市民意識調査では、人に優しい福祉等の充実や快適な住環境を望む声が多く見受けられるため、快適緑園都市の方向性を今後も推進していきます。

## PDCA サイクル

Plan=効果的な総合戦略の策定  
Do =総合戦略の着実な実施  
Check=施策・事業の効果の検証  
Action=施策の見直しや総合戦略の改訂



## ● 基本目標

- ◇総合戦略では、下の4つの基本目標に沿って施策を展開します。

### 基本目標 1

地方における安定した雇用を創出する



### 基本目標 2

小郡市への新しい人の流れをつくる



### 基本目標 3

若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える



### 基本目標 4

時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する



# 基本目標 1 地方における安定した雇用を創出する

## 数値目標

市内就業者数 2019年：17,500人

## 基本的方向

若年層の転出超過抑制のためには、市内および通勤圏内に就学・就業の場が必要であり、交通利便性を活かした企業誘致や市内商業の活性化、農業の後継者不足等への対応を推進します。

## 重要業績評価指標 (KPI)

主な重要業績評価指標 (KPI)	目標数値 (H31)
農業後継者を含む新規就農者数 (5年間)	25人
工業団地への企業誘致件数	1件
年間創業者数	5件

## 具体的施策

- ① 基幹産業「農業」の強化
- ② 企業誘致による雇用の確保
- ③ 市内商業の活性化



# 基本目標 2 小郡市への新しい人の流れをつくる

## 数値目標

人口の社会増 2015～2019年：1,900人

## 基本的方向

本市の強みである転入超過を維持するために、住宅開発と併せて、快適で魅力ある環境整備による移住・定住の促進や、観光、スポーツ、文化等を通じた交流人口の増加、知名度向上の取り組み等を推進します。

## 重要業績評価指標 (KPI)

主な重要業績評価指標 (KPI)	目標数値 (H31)
年間移住相談件数	10件
観光入込調査人数	600,000人
西鉄三国が丘駅1日平均利用者数	5,500人
市内の空き家数	1,040戸
小郡運動公園及び小郡市体育館利用者数	207,300人

## 具体的施策

- ① 誰もが住みたくなるまち・おごおりのPR
- ② 「新・七夕伝説・おごおり」を活かした観光振興
- ③ 安心して暮らせる住まいの整備
- ④ 空き家の対策と活用
- ⑤ 文化・スポーツ振興による交流人口の増加



基本  
目標

# 3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標

合計特殊出生率 2019年：1.6



基本的方向

安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進め、従来から取り組んできた教育環境の向上の更なる推進により、本市の合計特殊出生率の上昇や子育て世代の更なる呼び込みを目指します。

重要業績  
評価指標  
(KPI)

主な重要業績評価指標 (KPI)	目標数値 (H31)
出生数	500人
待機児童数	0人
小中学校教育の充実に対する満足度	60.0%

具体的施策

- ① 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援体制づくり
- ② 子育てしやすい環境の整備
- ③ 子どもひとりひとりにきめ細やかな教育



基本  
目標

# 4 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標

「小都市に住み続けたい」人の割合 2019年：80.0%



基本的方向

本市への新たな人の流れと雇用の好循環を支え、更に呼び込むために、地域での様々な課題に対して地域連携による解決を目指します。少子高齢化や人口減少社会の到来を見据えた生活課題への取り組みを進めることで、持続可能な活力ある地域社会の育成を図ります。

重要業績  
評価指標  
(KPI)

主な重要業績評価指標 (KPI)	目標数値 (H31)
協働のまちづくり組織の役員会・各分会等への参画者数	800人
コミュニティバスの1日あたり平均利用人数	230人
保健活動の充実に関する満足度	63.0%
連携中枢都市圏の活用事業数	35事業

具体的施策

- ① コミュニティ連携
- ② 時代にあった地域づくり
- ③ 誰もが元気で安心して暮らせるまちづくり
- ④ 周辺自治体との連携



小都市人口ビジョン・小都市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

平成28年3月 発行・福岡県小都市 編集・総務部企画課

〒838-0198 福岡県小都市小郡255番地1 TEL：0942-72-2111 FAX：0942-73-4466